



令和4年度新規採用職員 基礎研修



掛川市長 久保田 崇

掛川市のまちづくりのビジョン	1
『対話』と『チャレンジ』	2
プロフェッショナル人材の公募	3
世界とウクライナの平和を願う取組	4
自動運転の実証実験	5
新型コロナウイルス対策	6
ワクチン接種の促進	7
地方分散の受け皿づくり	8
移住定住の促進	9
人に優しいデジタル化	10
三木つばき選手北京オリンピック出場	11
『シュート！』続編2 2年7月アニメ化！	12
かけがわストリートテラス	13
各分野の改革	
1 教育・子育て	14
2 農業・茶業	16
3 防災	18
4 環境	19

掛川市のまちづくりのビジョン

■ 世の中は急速に変化してきている

- 新型コロナウイルスのまん延
- リモート化やデジタル化の進展
- 本格的な人口減少社会
- 地球温暖化への対応



■ 持続可能な未来に向けて、新しいステージに挑むとき

戦略方針 『未来に向けてチャレンジできるまち掛川』



「生涯学習都市宣言」と「自治基本条例」の理念を実現するため、市民一人ひとりが輝き、いつでも、誰でも、何回でも、「未来に向けてチャレンジできるまち」を目指します



まちづくりの基本姿勢 <3つのしこう>

対話志向

- ・積極的に本音の対話を重ね、状況や思いを共有し、まちのさまざまな課題に取り組むとともに、対話を通じた心豊かな人づくりにつなげます

柔軟思考

- ・固定観念や既存の手法に捉われることなく、時代や社会の変化を的確に捉えながら、新しいまちづくりを進めていきます

未来試行

- ・これまでの地域での積み重ねを大切にしながら、さらに新しい考え方や感性、デジタルなどの技術を活用し、持続可能なまちを目指します

『対話』と『チャレンジ』

■ 『対話』

- ・これまでの生涯学習や協働のまちづくりを深化
- ・「本音の対話」によって互いの状況や思いを率直に知り合う

具体例

- **様々な機会を通して多くの市民と対話**
 - ・多くの市民との対話を実践し、意思疎通を図る
- **かけがわまちづくりミーティング2021**
 - ・コロナ禍で開催できなかった地区集会の代替事業
- **新規就農者や子育て団体との意見交換**
 - ・様々な立場の方と意見交換を行い、市政に反映



■ 『チャレンジ』

- ・急速な時代の変化により新しいステージに挑むときを迎える
- ・市民一人ひとりが輝くまちづくりのために

具体例

- **プロフェッショナル人材の公募**
 - ・掛川市として初めて副市長を公募し、市政を改革
- **LINEを活用した「情報受付デスク」**
 - ・道路等の不具合の情報をLINEで簡単に連絡
- **保育園等入園の電子申請、電子図書館サービス**
 - ・自宅のスマホなどからいつでも申請や利用が可能に



←テキスト入力/メニュー表示
メニューから「情報受付デスク」を選択→

プロフェッショナル人材の公募

■ 副市長の公募



掛川市初、副市長の全国公募

- 様々な側面から市政の改革を担う
- 市民目線でのスピード感のある柔軟な市政改革

【応募資格】

- ・ 企業や団体において、組織を改革するようなプロジェクトに携わった経験をお持ちの方
- ・ 周囲や関係者の声に耳を傾け、対話・調整ができるコミュニケーション力をお持ちの方

■ 広報戦略官

- ・ 広報、C Pの現場責任者として、企画やメディアへのアプローチなどに携わる
- ・ 掛川市の魅力や政策について市内外へ発信し、魅力的な街へ育てる

■ D X推進担当

- ・ I C Tなどの技術を活用した市役所業務、市政、市民生活の改革を推進
- ・ プロジェクトマネージャーとして、施策立案、実装に向けた企画・設計など

■ スケジュール

9月30日 エン・ジャパン(株)と包括協定
10月18日 公募を開始
11月14日 公募締切

副市長1,498人、広報戦略官229人 石川紀子副市長

D X推進員173人の応募

4月 1日 石川紀子副市長 着任
松久晃士氏、大松良司氏 DX推進員就任



石川紀子副市長



松久晃士DX推進員



大松良司DX推進員

世界とウクライナの平和を願う取組

■取組

- ・世界とウクライナの平和を願い、令和4年3月4日から27日まで掛川城天守閣をウクライナ国旗の「青」と「黄」にライトアップ
 - ・掛川市議会でも、3月9日付で議員発議による「ロシア連邦によるウクライナ侵攻に断固抗議する決議」を採択
 - ・全国青年市長会（※）でも、3月11日付で「ロシアによるウクライナ侵攻に対する抗議声明文」を発出
- ※全国青年市長会・・・地方自治の発展に寄与することを目的として、49歳までに当選した首長をもって組織する会

掛川城のライトアップとロシアの侵攻への抗議

■ ライトアップの反響

- ・メディアやSNS等を通じて、戦火に苦しむウクライナの人々の心に届いている
- ・静岡県内外にも取組が波及し、日本全体で世界平和への連帯感が強まっている
- ・電話等による問い合わせが十数件
取組に対するお褒めの言葉
取組期間や時間等の内容に関わること など
- ・市内外問わず、世界平和を願い、多くの方が掛川城と掛川桜のライトアップに訪れた



自動運転の実証実験

■ 計画概要

- ・ 新たな移動手段として先端技術を活用した自動運転車両の活用を検討
- ・ 静岡県、東急(株)、ソフトバンク(株)と連携

夜間かつ公道での遠隔型自動運転は「全国初」



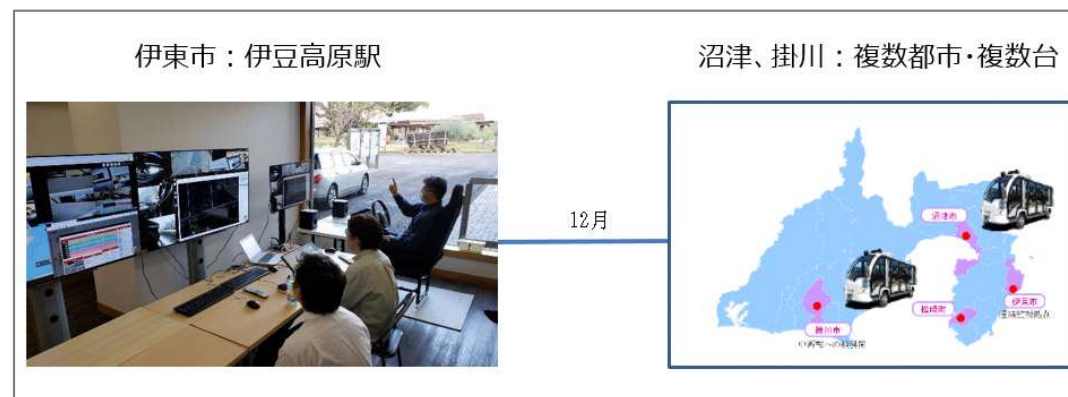
■ 運行区間（予定）

- ・ 掛川駅から三の丸広場までを運行



■ 遠隔操作

- ・ 伊東市のコントロールセンターから運行状況を監視や遠隔操作が行われる



■ 5G SAの活用

- ・ 最先端の通信技術 5G SA方式を活用
- ・ 「超高速・大容量通信」「超低遅延」「多数同時接続」の通信を実現

新型コロナウイルス対策

■ 掛川市の感染予防の主な取組

- ・手洗いの励行やマスクの着用など基本的な感染予防対策の徹底、感染リスクの高い行動の回避を呼び掛け、新しい生活様式の定着を図ってきている



○ 市民へのワクチン接種



詳細は次ページ

○ 抗原検査キット（1万個）で早期対応

- ・県内初めて1万個の抗原検査キットを配備
- ・感染者が出た施設等で迅速な検査を行い、感染拡大の防止につとめる

■ 生活支援や経済対策（掛川市独自）

○ 中小企業等応援給付金

- ・新型コロナの影響で売上が大きく減少した中小企業等へ最大15万円を給付

○ 子育て世帯生活支援特別給付金

- ・低所得のひとり親世帯に子ども一人あたり10万円を給付

○ 掛川市特産品プレゼントキャンペーン

- ・掛川市の公式LINE登録者4千人に地域特産品を贈呈



今後、国の経済対策を受けてのさらなる対策

ワクチン接種の促進

■ 12歳以上のワクチン接種状況

人口	2回目接種者	2回目接種率	3回目接種者	3回目接種率	備考
104,476	94,899	90.83%	44,957	43.03%	3月28日現在

■ 3回目のワクチン接種

2回目接種月	接種券の 発送目安	個別接種 開始時期	集団接種 開始時期
昨年9月以前	送付済み	接種券が届き次第	接種券が届き次第
昨年10月以降	6カ月経過後		

■ 小児（5-11歳）ワクチン接種状況

人口	1回目接種者	1回目接種率	2回目接種者	2回目接種率	備考
7,703	869	11.28%	0	0%	3月28日現在

予約方法：接種券が届き次第、予約サイトか電話で予約

ワクチン：個別接種はファイザー社製、集団接種は主にモデルナ社製

集団接種会場：徳育保健センター、大東保健センター、大須賀市民交流センター、
エコパスタジアム会議室（5歳～11歳（小児））



地方分散の受け皿づくり

産業基盤の整備やまちづくり事業により「地方分散の受け皿」となる

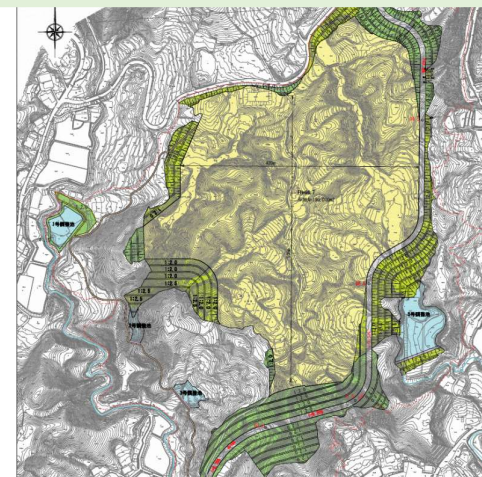
- **大坂・土方工業用地**（11.8ha）
 - ・ 令和2年5月 西工区造成工事着手
 - ・ 令和3年6月 西工区 北側区画
 - ・ 興国インテック(株)着工
 - 西工区 南側区画
 - ・ 企業誘致中
 - ・ 令和4年 興国インテック操業開始
西工区全体造成完成
- **上西郷地区整備推進事業**（47.8ha）
 - ・ 令和3年3月 事業者からの企画公募開始
 - ・ 令和3年12月 (株)日本エスコンを事業協力
予定者に決定
- **新エコポリス第3期工業用地**（約33ha）
 - ・ 早期事業着手に向けて調整を進める
- **新東名掛川第2PA**（3.7ha）
 - ・ 早期事業着手に向けて調整を進める
- **下垂木地区まちづくり事業**（52.1ha）
 - ・ 令和3年度 第二期計画スタート
桜が丘通り線、神田一丁田線南工区などを整備



整備が進む「大坂・土方工業用地」

上西郷地区整備推進事業の3つのテーマ

- ・ 持続可能なまちづくり
- ・ 新時代を目指すまちづくり
- ・ ポストコロナ社会を見据えたまちづくり



移住定住の促進

静岡県は、2020年『移住希望地ランキング』1位
テレワークが進み、掛川市を含む県西部も首都圏の通勤圏へ

■ これまでの取り組み

- **オンライン相談会**
オンラインを活用した相談会を定期開催し、全国からの相談に対応
- **移住者との意見交換会**
移住者による座談会を開催。今後の移住施策に必要なものを確認



■ 今後の展開

- **地域おこし協力隊の活用**
イメージ戦略を図るとともに、移住者モデルとして市と伴走し、さらなる移住者を呼び込む
- **移住促進拠点施設の整備**
宿泊スペース・ワークスペース・多目的スペースを備えた「移住促進拠点」を整備
- **「選ばれる都市」となるための情報発信**
まちの様子や暮らしぶりなどを発信し、移住地として選ばれる都市を目指す
- **地域等と連携したマッチングの強化**
地域等と連携し、移住希望者とのマッチングを図るとともに、丁寧な案内によりさらなる移住者増に繋げる



地域おこし
協力隊
芳川翠さん



人に優しいデジタル化

■ デジタル化の方向性

- あらゆる分野の基盤にデジタル化を意識
- 令和4年度、「DX推進計画」を策定
- ノウハウのある民間人材の力も借りてデジタル化を推進
- スマホで行政手続きがどこからでもできる「手のひら市役所」
- LINEやTwitterなどのSNSによる情報発信を強化



■ デジタル化の取組

豊かな 地域づくり

- ・ G I G Aスクール構想
- ・ データ公開の推進
- ・ 防災対策への活用



行政サービ スの向上

- ・ 電子申請の推進などマイナンバーカードの活用促進
- ・ 市事業のWeb配信など市民生活の利便性向上
- ・ 電子図書館システムの運用開始



働き方の 転換

- ・ R P Aを活用した業務効率化
- ・ 電子決裁、テレワークの拡大
- ・ 保育所等 A I 入所選考システムの導入



三木つばき選手 北京オリンピック出場、感動をありがとう！

■ 県内選手初の表彰台を目指すも、決勝T敗退

- ・ 2月4日開幕の北京2022オリンピックに、掛川市出身のアルペンスノーボーダー、三木つばき選手（CATALER）が出場。
- ・ 掛川市出身選手が冬季オリンピックに出場するのは初。



競技種目
競技日程
(日本時間)

競技	スノーボード	種目	女子パラレル大回転
日程	令和4年2月8日(火)		
予選	2本滑降 計1分27秒15	全体3位	
決勝	1回戦敗退		

■ 三木つばき選手 プロフィール



平成15年6月1日 長野県白馬村生まれ
掛川市立桜木小、桜が丘中学校卒業
現在、勇志国際高校3年

4歳 スノーボードをはじめる
小4 JSBA全日本選手権初出場
小6 プロ登録 SAJ全日本ジュニア選手権
小学生の部優勝
中1 本格的に海外遠征に参戦
以後、数々の大会で活躍、輝くかけがわ応援大使

『シュート！』 続編 2 2 年 7 月アニメ化決定！

■ 「シュート！」とは

1990 年から 2003 年までの約 13 年間にわたり週刊少年マガジンで連載され、1993 年にアニメ化、1994 年には講談社漫画賞少年部門を受賞し、同年 SMAP を起用した実写映画も公開された累計発行部数 5,000 万部のサッカー漫画である。
約 13 年間にわたり連載されてきた原作は、掛川高校サッカー部が、全国優勝を果たす最強のチームへと変貌を遂げるまで描いた物語。

■ 「シュート！」 続編のアニメ化が決定！

「シュート！」の原作者は、掛川市出身の漫画家：大島司氏であり、今回のアニメ化は、原作「シュート！」の続編で、完全オリジナルの新作アニメ化となる。

■ 掛川市の取組

- ・ 原作（漫画）のファンはさることながら、原作にはないオリジナルの内容となるため、新たなファン（若年層）に掛川をPR する機会とする
- ・ アニメ放映化に合わせて事業を展開することで掛川の認知度を高める
- ・ 「シュート！」が市民の誇りとなり、まちの活性化に繋がるよう、まちおこし事業を展開する。



かけがわストリートテラス

■ 目 的

まちなかにて公共空間と隣接する私有地を一体の空間として捉え、にぎわいを創出する取組を進めることで、居心地が良く歩いて楽しめるウォーカブルなまちを目指す

期間 令和3年11月1日～令和4年3月31日
※ 来年3月末まで継続的に実施
※ 出店スケジュールは、ホームページでお知らせ

■ 特 徴

- ・ 三の丸広場、連雀西交差点北側歩道にストリートファニチャーが設置され、キッチンカー等の仮設店舗が出店
- ・ ストリートファニチャーのデザインは静岡理工科大学の学生が考案
- ・ 掛川市から、NPO法人かけがわランドバンクへの委託事業として実施



改革 1 教育・子育て ①

義務教育は100年に一度の変革期

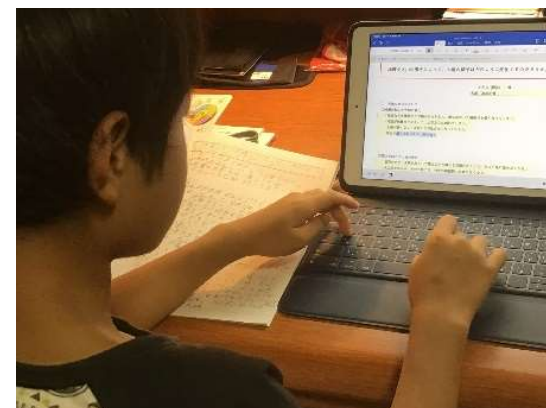
令和2年度 市内すべての小・中学生に一人一台タブレット
令和4年度 小学校高学年に教科担任制が本格導入

■ 教育情報化の推進

- ・ 授業へのオンライン参加
- ・ インターネットでの情報収集
- ・ 特性に応じたICT活用



タブレットを活用した対話的な学び



タブレットを活用した家庭学習

■ 特色ある取組

○ かけがわ教育の日

- ・ 市民総ぐるみで教育の振興を図る契機として毎年開催

○ 中学校区学園化構想

- ・ 市内9つの中学校区ごとに、園・学校・家庭・地域が連携して子どもを育む教育を実施

○ かけがわお茶の間宣言

- ・ 家族が集う「お茶の間」の役割を再確認し、家族団らんから生まれる財産を基に人づくりにつなげる取組



かけがわ教育の日 掲載動画

■ 小・中学校再編の検討

- ・ 子どもたちにとって、より良い教育を進めていくために、小中一貫教育を含む、小・中学校の再編の議論を、令和4年度からスタート

改革 1 教育・子育て ②

待機児童ゼロの継続、
質の高い乳幼児教育・保育のために

■ 様々な子育て支援策

- ・ 子育てコンシェルジュの訪問活動
- ・ 子育て総合案内サイト「かけっこ」の充実
- ・ 地域子育て支援センターなど17か所の子育て支援施設を開設
- ・ かけがわ乳幼児教育未来学会の取組
- ・ 掛川流子育て応援事業「スキンシップのすゝめ」
- ・ 高校生年齢まで子ども医療費を助成、未就学児入通院費無料



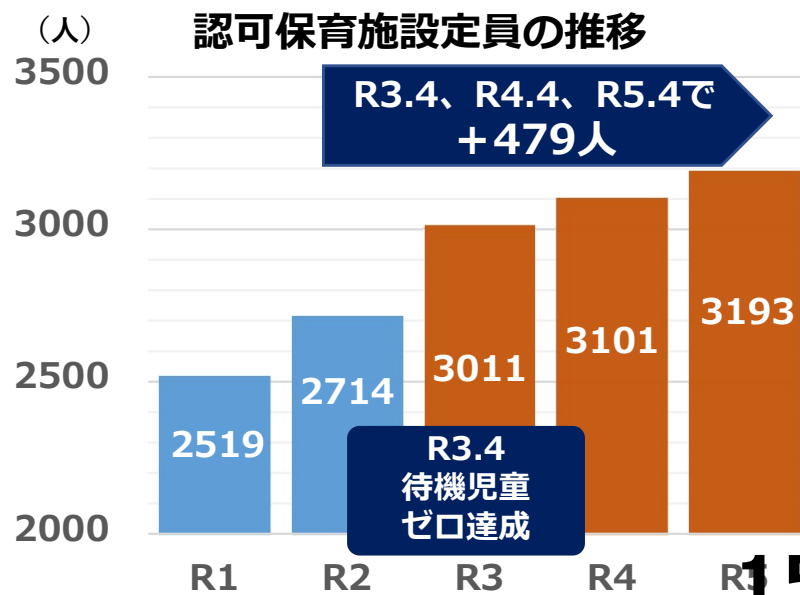
■ 幼児教育・保育環境の充実

○ 幼児教育・保育環境の整備

- ・ R3.4 よこすかぬく森こども園、智光こども園、モコ掛川保育園、小規模保育園 2 園が開園
- ・ R4.4 おおぶちそよ風こども園、千羽すびか保育園の開園
- ・ R5.4 きとうこども園の開園予定

○ 保育士の確保

- ・ お仕事応援相談会、就職応援資金貸付事業



改革2 農業・茶業 ①

掛川市の農業算出額は 4 位／県内35市町
ブランド力を磨き 地域で育み 伸びゆく農業へ

■ 地域ブランドの発信

○ 掛川茶

掛川市は、全国茶品評会の深蒸し煎茶の部にて
全国最多の23回の産地賞を受賞

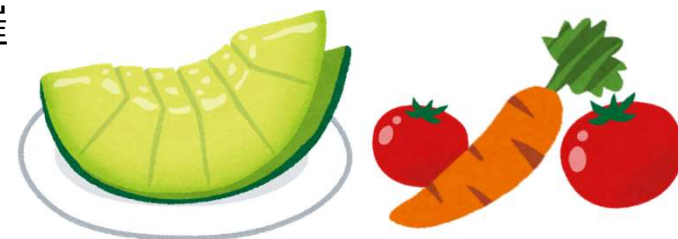
- ・ 掛川茶リブランディングプロジェクト
人に共感や感動を与える掛川茶の新しい情報発信
- ・ 掛川市茶振興計画の見直し
有機栽培茶の生産拡大等、SDGsに対応した計画へ発展
- ・ 健康効能研究に係る協力、効能データの活用・発信
オンラインでのお茶ひろめ隊活動、健康効能講座の開催



新たなブランドイメージ
「お茶と暮らし」

○ 掛川牛、露地・施設野菜の振興

- ・ 指定産地作物の安定供給に向けた取組
- ・ 地域ブランドとして商標登録されているメロン、トマト、ニンジン、掛川牛など農畜産生産者の支援



■ 互産互消の展開

- ・ 地方都市とのネットワークを形成し、特産品・観光・定住の交流につなげて、地域経済の活性化を図る
- ・ 現在21地域産品の互産互消活動を展開中



これっしか処等で互産互消の
商品を販売中

改革2 農業・茶業 ②

若い人が希望を持って参入できる仕組みづくりのために

■ 規模拡大、環境整備支援

○ 土地改良事業

- ・ 令和3年度：市内11ヶ所で実施
- ・ 事業地区：佐東、沖之須、大坂、千浜、野中、寺島・幡鎌、遊家・家代 など

○ 人・農地プランの実質化

- ・ 地区内の5～10年後の農地利用を担う経営体の在り方を決めていく。
- ・ 令和3年度：市内6地区で実施
- ・ 実施地区：桜木、西南郷、大坂、佐東、中、日坂



基盤整備事業による圃場整備

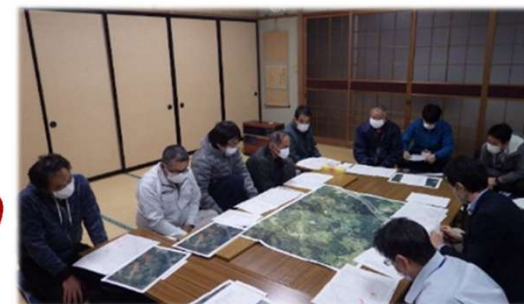
■ 新規就農者への支援

○ 各種研修制度の紹介

- ・ 短期農業インターン受入事業、がんばる新農業人支援事業など

○ 就農資金の交付

- ・ 次世代を担う農業者を志す49歳以下の者に、就農準備や開始時の経営を支援する資金を交付
- ・ 農業次世代人材投資資金
令和4年度予算 11人×150万円＝1,650万円



基盤整備事業に向けた地元打合せ



新規就農者との意見交換



改革3 防災

災害による死亡者ゼロを目指した 様々な取組

■ 海岸防災林強化事業「掛川潮騒の杜」の整備

- ・ 自然災害から生活を守り、市民が集い、楽しむ杜を目指して整備を促進
- ・ 全長約9 kmの海岸防災林をレベル2の津波に対応した高さに嵩上げ



掛川潮騒の杜の完成予想

■ 橋りょう耐震化

- ・ 重要路線等にある67橋の耐震化を進める

掛川潮騒の杜の進捗状況

■ ソフト施策の充実

- ・ 災害による死亡者ゼロを目指し、避難の重要性の周知や、自助・共助の強化を図る
- ・ 「防災ガイドブック」を最新の知見を入れた内容に改訂

項目	H26～R2	R3	R4～
施工延長	4,030m	1,457m	3,513m
施工延長 累計	4,030m	5,487m	9,000m
進捗率	44.8%	61.0%	100.0%
盛土量	108万m ³	20万m³	64万m ³

■ 水害対策への備え

- ・ 流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を促進
- ・ 河川改修や浚渫を国、県と協力して進めるとともに、溜池や田圃などに洪水調整機能を持たせる活用方法の検討を進める
- ・ 小電力無線網を活用した「河川水位観測システム」による、河川状況の見える化により、防災対策に役立つ情報提供をする



河川水位観測システム

改革 4 環境

■ 地域循環共生圏づくり

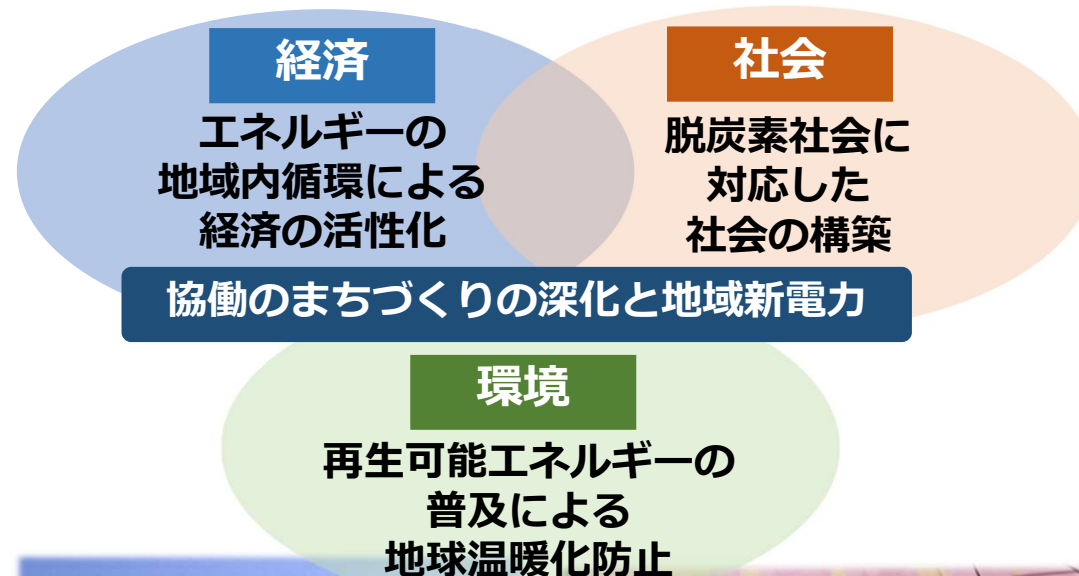
- ・ 令和2年、地域電力会社「かけがわ報徳パワー(株)」を設立
- ・ 令和3年度、市役所を始め73の公共施設への電力供給をスタート。
地域内の資源・資金を地産地消し、地域内循環による温室効果ガス削減や地域経済の活性化を目指す

■ 再生可能エネルギーの普及促進

- ・ 2050年のカーボンニュートラル宣言を受けた新たな目標の設定と対策

■ 新しい廃棄物処理施設の検討

- ・ 新廃棄物処理施設整備検討委員会
第1回委員会開催
8月を目途に最終的な方向性まとめる
- ・ 安全・安心な施設はもとより、地域循環共生圏づくりの拠点となる施設整備を検討



海岸エリアに連なる風力発電



かけがわ報徳パワー(株)設立



現在の廃棄物処理施設「環境資源ギャラリー」



ご清聴ありがとうございました

